

## 大奮闘！除雪作戦の開始！

二月二十四日、参加者は学校周辺の家庭の除雪と、登校時にいつも通る学校前の歩道除雪を行いました。参加者は各自スコップを持参し、やる気十分の様子。五、六人ずつの班に分かれ、十三カ所の除雪場所に向かいました。

到着した生徒たちは、指示を受けてさっそく作業開始。固まった雪に四苦八苦しながらも除雪作業を進めました。



作業を終えた、三年A組の黒岩魁君に感想を聞くと、「最初は大変な作業かなと思っていただけ、友達みんなやればすごく楽しい作業でした」とのこと。さらに、中高生のボランティアについて尋ねると、「こういう活動をする、喜んでくれる人たちがいるし、喜んでくれるとほくたちもうれしいです。」



ボランティア除雪に参加した黒岩君

「積極的に取り組むべきだと思います」と語ってくれました。

今回、生徒が伺った安濃さんに話を伺った、「こういうボランティアを初めて受けたが、自分では腰が痛くてなかなか雪かきができないので本当にありがたい」との答えが。中高生がこのような活動を行うことについては、「やっぱり学生は勉強が一番だけど、このような活動を行うことは素晴らしいと思う。時間がある時に取り組んでいただければ」と話されていました。

## 取材・編集を終えて

ボランティア活動というのは誰かに強要されてするものではありません。しかし、こういった活動の中で、相手の立場になって考える力を身に付けたり、人のことを思いやる気持ちを持つたりすることは、大切なことであると思います。

中高生に限らず、社会全体にもっとボランティアが広まって、素敵な日本になっていくとうれしいです。

【札幌光星高等学校新聞部一同】



光星高校新聞部の編集部員

